



たらあ

平成30年

2月号

平成30年2月1日発行

No.527

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



ふくは～うち

おには～

こあい～ (>_<)



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

新春の集い



1月5日(金)、村主催の「2018年新春の集い」がコミュニティ施設に於いて、村議会議員や関係者、多くの村民が参加して開催された。伊良皆村長が「昨年は酉年で村も大きく羽ばたいた一年だった。戌にバトンタッチし新たな一年を迎えた。村民をはじめ、関係機関の力で多良間村を発展させていきたい」とあいさつした。

村議会の森山議長の音頭で参加者が乾杯し、村の一年が良い年になるように願った。宮古製糖(株)の安村社長も参加し、「村民の皆さんが丹精込めて作るさとうきびを多良間ブランドとして発信していくとともに、多良間島をPRしていきたい」と述べた。舞台では婦人会や老人会、役場職員などによる余興の他に、歌手のジョー明さんの歌で大いに盛り上がった。

平成30年初競り

JAおきなわ多良間家畜市場の平成30年肉用牛初競りが、1月19日(金)に開かれた。

一番牛の子牛には、125万4000円の高値が付き市場は沸いた。

式典には、生産者や購買者、県、村など関係団体の代表らが出席した。

JAおきなわの大城勉代表理事は「沖縄は全国有数の和牛産地として知られる。昨年同様皆さんの協力を得て畜産振興に弾みがつくような初セリになることを願いたい。昨年多良間市場では1259頭、8億2000万円だった、JAとしても購買者の求める子牛産地化を確立するため、積極的な繁殖母牛増頭に努めたい」とあいさつした。



ゲートボール連合を表彰



平成29年12月25日(火)、多良間村ゲートボール連合の富盛会長は、伊良皆村長へ12月21日(金)に県庁で行われた、2017年度県生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰式の報告をした。

県内のスポーツの普及と発展に貢献した2個人・3団体へ富川副知事から表彰状が授与され、多良間村ゲートボール連合が優良団体賞として表彰された。

多良間村ゲートボール連合は1986年設立。8部落の公民館で活動し会員約100名が所属している。

平成30年度（平成29年分）の 所得申告提出について

所得申告は、地方税法第317条の2規定により1月1日現在でお住まいの市町村長に毎年提出する義務があります。

申告をしないと所得証明書や課税、国民健康保険の軽減措置・国民年金保険料の免除申請等公共への申請事務、その他各種の手續等に大変支障をきたします。

別添の申告書により期間内提出して下さいと通知します。

記

※申告期間：平成30年2月16日～平成30年3月15日まで

※提出場所：多良間村 総務財政課 税務係 Tel 79-2502

※申告に必要なもの：申告書・印鑑・前年中収入および経費がわかる資料・各種控除証明書又は領収書

※今年度の申告からマイナンバーが必要です。

次の方は申告必要ありません。

※税務署へ確定申告をされた方

※公的年金のみ、または勤務先等から給与支払報告書を提出され方。

多良間村総務財政課
税務係

2018年消防出初め式

多良間村消防団の2018年消防出初め式が、1月5日（金）村役場前で行われた。

伊良皆村長から消防団員に「今年1年間火災や自然災害などから、住民の生命・財産を守ってほしい」と訓示した。

団員たちは、ポンプ操作訓練などを行い、地域防災に向けて気を引き締めていた。



一日消防団長の大戸さん（左）と消防団の奥原団長（右）

1日消防団長を努めた大戸理絵さんは「災害はいつ発生するか予想出来ないもの。災害に備えて日ごろの訓練はもちろん、村民の協力が必要不可欠。消防団の活動はますます幅広く複雑多様化する情勢にあり、我々団員も組織の強化と訓練に励み責任を十分果たしたい」と決意を述べた。



放水訓練する消防団員

空き家活用し移住受入

1月29日（月）、空き家を活用した移住者受入環境整備利活用計画策定委員会が発足され、第1回の委員会が役場2階会議室で行われた。

人口減少の歯止めに向けて、移住者受入が可能な空き家の把握、所有者の意向調査などを行い、今年の3月末までに利用計画書を策定する。

委員長に選任された多良間村観光協会の富盛会長は「雇用創出と一体となった戦略的な移住者受入計画を推進する。人口構造の若返りが図れる地域社会の実現を目指したい」と述べた。



黒糖奇贈

1月5日(金)、宮古製糖(株)安村社長が多良間村役場を訪れ、今期の多良間産黒糖を奇贈した。

今期のさとうきびの収穫量は、2万5千トンと大豊作だった昨期と同等か、それ以上の見込み。



伊良皆村長(左)と安村社長(右)



インターネットサイト「OKINAWA41」開設



目的

- ・沖縄の41市町村民等から、あまり知られていない沖縄の魅力(はたらく、風景、暮らし)を全国に発信することにより、沖縄の振興、発展につなげる。

概要

- ・インターネットサイト「OKINAWA41」(<https://www.okinawa41.go.jp>)において、沖縄県民が沖縄の魅力を継続的に発信する場を設け、写真コンテストや現地のレポート記事(沖縄在住のレポーターによる投稿)の配信等を行う。
- ・写真コンテストは、「はたらく」「風景」「暮らし」の3部門に分けて、審査委員会による審査を行い、最優秀賞「内閣府特命担当大臣賞」、各部門優秀賞を選定し、東京において表彰式を開催。

スケジュール

- ・コンテスト募集期間：平成30年1月30日～3月7日
- ・コンテスト表彰式：平成30年3月末

内閣府沖縄政策担当

沖縄県離島住民割引運賃カードの更新について

あなたの離島割引カードは期限切れではありませんか？

更新手続きは多良間村役場 総務財政課(役場2階)にて受け付けています。

必要書類等を必ず持参し、申請を行って下さい。一つでも欠けると更新できません！

更新は2ヶ月前から受け付けます。

必要なもの

- ①証明写真(タテ3cm×横2.5cm)3ヶ月以内に撮影した写真
- ②印鑑
- ③現住所記載の身分証明書(保険証・免許証・住民票など)
- ④離島出身高校生・学生の場合、在学証明書及び父母の住所が確認出来る書類が必要です。

沖縄県ミニバスケットボール冬季交流大会

平成29年12月26日(火)～28日(木)多良間小学校ミニバスケットボールクラブが、沖縄本島で行われた「第16回沖縄県ミニバスケットボール冬季交流大会」に参加しました。

●交流大会結果

12月26日(火)

1試合目…多良間50 VS 美里54 ※惜敗

優勝候補に名乗りを上げている美里小学校に大接戦の末負けてしまいました。

相手チームは多良間女子の活躍にかなりビビっていたそうです。

2試合目…多良間59 VS 与那原32 ※勝利!

12月27日(水)

3試合目…多良間62 VS 西表50 ※勝利!

4試合目…多良間49 VS 北部ファイターズ43 ※逆転勝利!

通算3勝1敗でした。

高江洲監督(多良間小学校教諭)のコメント

「県大会では在沖多良間郷友会・ふしゃめふネットの皆様に変なお世話になりました。遠征で特に大変な送迎を2日間も快く引き受けて頂き、大変感謝しています。おかげさまで、子ども達は最高のパフォーマンスで試合をすることができました。」



多良間小学校ミニバスケットボールクラブのメンバー

宮古島税務署からのお知らせ

確定申告会場の設置期間は2月16日～3月15日(月～金)となっております

- 平成29年度分の所得税等の確定申告における、申告相談会場は2月16日から開設しますので、申告相談が必要な方は設置期間内にご来場下さい。
- 平成29年度分の確定申告から医療費控除を受ける場合には、医療費の領収書の添付又は提示に代えて、「医療費控除の明細書」の添付が必要になりましたので、事前に医療費控除の明細書を作成のうえ、ご来場ください。

■確定申告に関する相談

申告手続きや申告に必要な書類の確認など、各種問い合わせは国税庁ホームページまたは、確定申告電話相談センターをご利用下さい。

●国税庁ホームページ： で 

●確定申告電話相談センター：平成30年1月4日(木)～3月15日(木)

8時30分～17時(原則として、土日・祝日は除く)

①宮古島税務署 (☎ 72-4874) へおかけください。

②音声ガイダンスに従い「0番」を選択して下さい。



観光振興課 地域おこし協力隊 友野の報告

昨年の10月号でお知らせしていた「那覇まちま〜い」体験・レクチャーに参加してきました。

那覇まちま〜いから学び「島歩きコース造成」をして「島あっちい」のモニターメニューに繋げ、さらに定番の観光メニューとすることを目指した支援事業です。

実際に「まちま〜い」のコースを体験し、那覇市観光協会的那覇まちま〜いプロジェクトリーダーの講義&相談という内容でした。

「那覇まちま〜い」は、7年前、観光客に那覇での滞在時間を延ばしてもらえるように考え生まれた観光メニューです。1時間〜2時間、街を歩くので、テーマに沿ったコース設定がされており、現在では70コースほどあるそうです。365日毎日開催しており、市民ガイドも約100名が活躍されています。

那覇だけに限らず今では、各島々でも「島ま〜い」と称した「島歩き」メニューが造成されていて宮古島でも人気の観光メニューになっています。

「歩いてまわる」「島ま〜い」は、業務用自動車(緑ナンバー)がない多良間島では、必要な観光メニューだと思います。旅行会社との話の中で、島内観光の契約話が進んでも、業務用自動車がないことを伝えると契約が出来ないことが多いのが現状です。もちろん違法行為となることもありますから仕方がないのですが。

また「着地型観光」といわれる、受入先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合・現地解散する観光の形が主流になってきています。

そういったことから多良間版「すまま〜い」のコース造成やその他の体験メニュー作りを進めていきたいと思っています。

そのためにも島ガイドを引き続き募集します！！

ガイドに興味のある方が多数いらっしゃるなら、勉強会を開催したいと思っています。

ぜひ、興味のある方は友野まで声をかけてください。

よろしくお願いします。



村長のたうけーむぬゆむ。(ひとりごと)

昨年の十二月三十一日大みそか、NHKBSプレミアムで黒澤明監督特集があった。「七人の侍」「生きる」「用心棒」「椿三十郎」「赤ひげ」の連続放映だった。

黒澤明監督は、「世界のクロサワ」といわれ、世界で最も有名な映画監督だ。彼の映画を手本とした作品が、各国で数多く作られている。映画界からただ一人、国民栄誉賞もうけた。

黒澤映画をはじめて観たのは、学生の頃「生きる」だった。ヒューマニズムが頂点に達したと評価される名作だ。題名通り「生きる」という普遍的なテーマを描くとともに、お役所仕事に代表される官僚主義を批判している。劇中で、志村喬演じる主人公が「ゴンドラの唄」を歌いながらブランコをこぐシーンは、今でも忘れられない。酔うと、そのシーンを思い出しながら、「ゴンドラの唄」をよく口ずさんだものだ。

主人公は、ある市役所の市民課長である。机にかがみこんで、機械的に書類に印鑑を押すだけの一日だ。

彼は時間をつぶしているだけで、生きていけるとは言えない。ある時、胃の痛みに耐えかねて、仕事を休んで病院へいった。30年間皆勤の記録があと1か月で達成という矢先だった。彼は末期の胃ガンだった。死の恐怖におびえる主人公。病院を出ても往來の騒音が聞こえないくらいショックだった。まず頼りとするのは家族である。

彼は、早くに妻と死に別れ、男手ひとつで息子を育ててきた。息子だけが頼りである。しかし、どんなに心配し、どんなにか慰めてくれるだろうと期待していた息子は、冷たかった。悲憤な親の雰囲気さえ察知してくれない。もはや自立し、結婚した息子は、夫婦のことしか頭になかった。息子は、父親の退職金を当てにして、妻と二人だけの新居を建てようとしている。そんな息子夫婦の会話を聞いてしまい愕然とする。彼は、布団の中にもぐりこみ、うめくように泣きただけだった。

彼は、快楽で、死の恐れを忘れようとする。役所を無断欠勤し、街をさまよう。飲み屋で知り合った男に、自分はガンであると告白する。男は「胃ガンと分かっている、酒を飲むなんて、まるで自殺行為」といさめる。彼は、「ところが死ぬません。何のために働いてきたのか、人生最後に味わう現実、あまりにも残酷だ。何十年もかかっていた大金を、一思いに使いたいが、使い方が分からない。教えてほしい。」と男にたのむ。死に直面したとき、どんな思いか。それは「なぜ生きるか」への厳しい問いでもある。子供のためではなかった。お金をためるでもなかった。仕事のためでもなかった。どれもこれも「人生の目的」と呼べるものではなかった、と知らされ、愕然とする。後は、破れかぶれだ。せめて遊んで「死」を忘れるしかない。男に案内されて、彼は、夜の繁華街へ出ていった。パチンコ、ピヤホール、ダンスホール、ストリップ劇場、キャバレーなどなど、明け方まで遊び歩いても、心は晴れなかった。余命いくばくも

ないと知らされた者に、何がいったい楽しいのか。生涯働いてためたお金をつきこんで遊びほうけても、死の恐怖は去らない。必死にもがく彼は、「人のために役立つ仕事をすれば、生きる喜びが味わえるのでは」と思い立つ。役所へ戻った彼は、誰も見向きもしなかった住民からの陳情である、汚いドブを埋め立てて、公園を造ろうと動き出す。彼は、自分が造った公園で死んだ。雪の降る寒い夜、人知れず、倒れているのを発見された。



沖縄県内における飲酒運転検挙件数は1,856件（平成28年中）

前年よりも224件増加！

1日当たり5件（人）も検挙されている！

うち逮捕された者が約750人！

全国最多!!



沖縄県内における 飲酒運転による運転免許取消処分者数（平成28年中）

うちゴールド免許が552人（43.5%）も！

取消し後、酒気帯び運転は2年間、酒酔い運転は3年間は免許を取得できません！

※ 人身事故等の違反が加算された場合は最長10年間

1,268人

避けられない大きな代償...

刑罰・賠償

- 1 刑罰
酒酔い運転 → 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
酒気帯び運転 → 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
※ 人を死傷させた場合は最長20年の懲役！
- 2 被害物件や被害者への補償
死亡事故の場合は3,000万円以上も！



社会的代償

- 1 職を失うかもしれない
- 2 家族関係や友人関係が崩壊してしまうかもしれない
- 3 免許取消によって行動範囲が極端に制限される
- 4 送迎や仕事の負担等、家族や職場同僚等に影響を及ぼすかもしれない
- 5 逮捕された場合の報道によって社会的責任を追及されるかもしれない
- 6 懲役の場合、刑務所に収監される



時間・経済的代償

- 1 欠格期間（免許を受けられない期間）
2～3年間（他の違反が加算された場合は最長10年間）
- 2 取消し処分者講習の受講
欠格期間終了後に2日間の講習（手数料は約3万円）
- 3 自動車学校に入校（教習期間）
入校期間は約1ヶ月、取得費用は平均約35万円



それでも飲酒運転を

するのですか？ させるのですか？ 許すのですか？

1月

世帯数と人口 (平成30年1月末現在)		
総世帯数	530 (3)	
総人口	1,178 (9)	
男 635	女 543	
区別	人口	世帯数
土原	61 (0)	29 (0)
天津川	92 (0)	41 (0)
川良	109 (4)	51 (0)
宮間	70 (0)	29 (0)
嶺間	143 (0)	67 (0)
大道	193 (-1)	98 (0)
大木	288 (0)	122 (1)
吉川	218 (6)	90 (2)
水納	4 (0)	3 (0)
出生	0	死亡 1
転入	11	転出 1

()内は前月比

緊急ダイヤル	
火災・救急 ワンクッションコール	119番
警察官派出所 (79-2010)	110番
急病人 多良間診療所	79-2101
歯科診療所医師	79-2162
停電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

救急に関すること (1月)

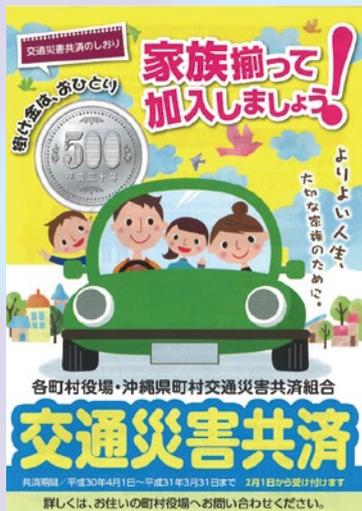
- ◆時間外救急受付 12件
 - ◆救急車出動 0件
 - ◆ヘリ搬送 0件
- 火災・救急ワンクッションコール：
119
- ※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

広報寄付のお礼

- ・来間 玄次 様 那覇市在
- ・豊里 勝一 様 浦添市在

ありがとうございました。

「交通災害共済」を2月1日から受け付けます。



掛金はおひとり500円。

多良間村役場 総務財政課
で受け付けます。

編集後記

*2月1日(木)、ニサイガッサ定例会が執り行われ、今年のも多良間村の年中行事が決定した。

毎年、年明け前から、カレンダーやインターネットに載せたののと、スツウプナカの日程の問い合わせがあるが「ニサイガッサ定例会で決まりますのでいつかはまだ分かりません」としか応えられない。

そのスツウプナカは5月1日(火)、八月踊りは9月17日(月)19(水)です。

また、神事以外のイベントの日程も続々決定しています。

郷友会交流グラウンドゴルフ大会5月19日(土)、ピンダアース大会5月20日(日)、ハリーリ大会7月16日(月)等々。

多良間では、多くの年中行事の合間を縫って、個人的な予定を入れなければいけない。これで今年の大まかな予定が組める。

なかまさとや
仲間智也